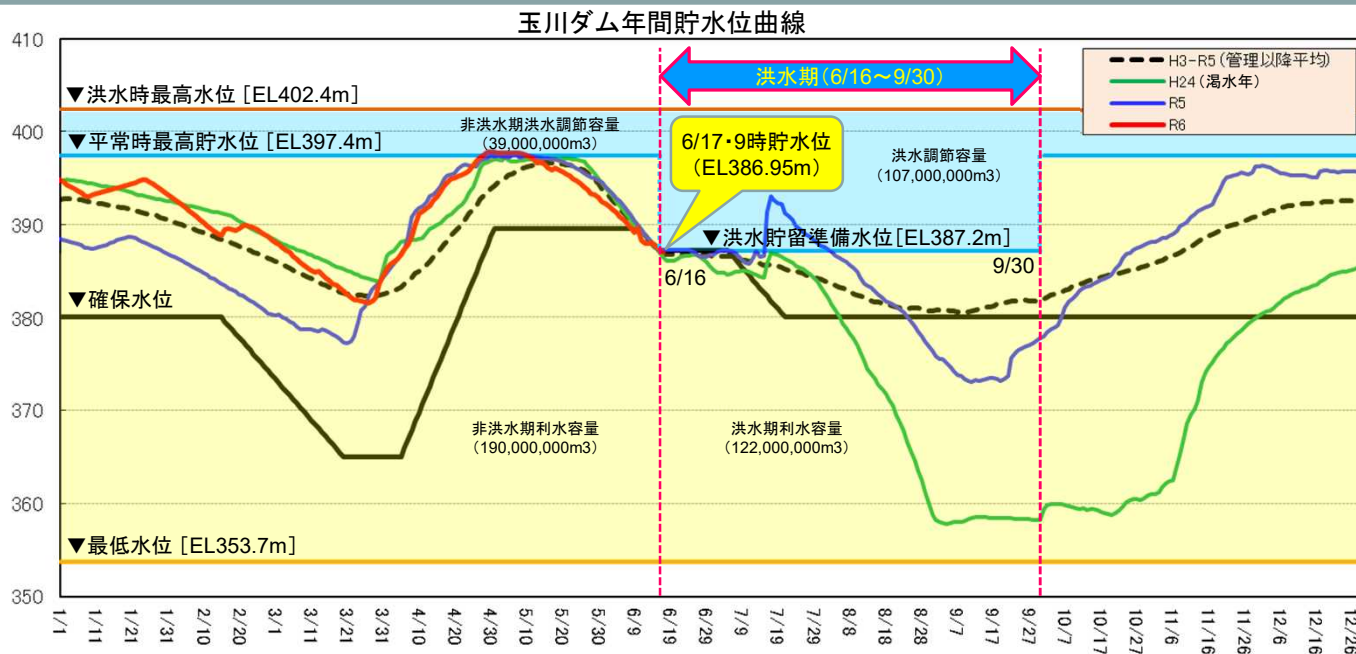


■洪水期を前に洪水を受け止める準備が整いました(R6.6.17)

玉川ダムは、梅雨や台風等により洪水が起きやすい時期として、**6月16日から9月30日までを「洪水期」と設定**しています。

春先から融雪等により貯水位が高い状態でしたが、かんがい用水などの補給やダム湖水位を調節しながら、**洪水を受け止める容量(洪水貯留準備水位)まで水位を低下させ、洪水を受け止める準備が整いました。**

現在、利水容量も予定どおり確保されており、関係機関と連携の上、引き続きダム運用を行います。



また、**今年は雪融けが早く、夏場に渇水の懸念があること**と、カーボンニュートラルの取組みの一環として、**水力発電の増電を行えるように、貯水位を高め**に維持する弾力的な運用を行います。

★玉川水系放流通報連絡会を開催しました★

洪水期を迎える前に、ダムからの放流による河川災害や、事故防止を目的に、6月13日に「玉川水系放流通報連絡会」を開催しました。

連絡会では、放流に関する通知や解説、関係機関との連絡系統などあらためて関係者で確認し、万全の体制で洪水期を迎えます。



(開催状況)